

I. 大学の卒業の認定に関する方針

本学の建学綱領に掲げる「高邁な人間形成」、「深遠な技術革新」、「雄大な産学共同」の理念に基づき「自ら考え行動する技術者」となるために、豊かな教養と社会で活躍できる以下の能力を身につけ、卒業要件を満たした者に学位を授与する。

- ・専門分野の知識を修得し、それらを知恵に転換できる能力
- ・地域社会や産業界が持つ多様な問題を発見し、それらを解決できる能力
- ・世代・分野・文化を超えた価値観を共有し、イノベーションを実現できる能力

I-1. 工学部機械工学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、機械工学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士（工学）の学位を授与する。

- (1) 機械工学に関する基礎知識を身につけ、それを省エネルギーや環境負荷・安全性を考慮しながら、機械や機械部品の設計や製造プロセスなどに活用することができる。
- (2) 地域社会や産業界で抱える問題を見出し、それらを解決するために機械工学の知識を活用することができる。
- (3) 機械工学は社会基盤を支える礎であるという高い誇りを持って、多様な分野にも果敢に挑戦することができる。
- (4) 機械や機械システムが人間社会や地球環境にもたらす影響についてグローバルな視点で考え、高い倫理観をもってイノベーションの実現に向けて行動することができる。

I-2. 工学部航空システム工学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、航空システム工学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士（工学）の学位を授与する。

航空工学分野の専門知識を修得し、それらを総合的に活用して航空機関連の機器やシステムの設計製作ができる基礎的実践能力。

地域社会や産業界が抱える問題の本質を捉え、航空工学の観点から問題解決を推進することができる能力。

社会の変革に対応し、新しい価値観の創造と技術革新に果敢に挑戦できる力。

I-3. 工学部ロボティクス学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、ロボティクス学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士（工学）の学位を授与する。

- A. ロボティクス分野の専門知識を修得し、それらを統合的に活用して機器やシステムの設計製作ができる実践応用能力
- B. 地域社会や産業界が抱える問題の本質を捉え、ロボティクスの観点より問題解決を推進する能力
- C. 社会の変革に対応できる、新しい価値の創造と技術革新に果敢に挑戦する力
- D. 生涯を通じて常に学び考える能力、広い視野と倫理観および国際的な視点を以って、持続可能な社会のあり方を考える力

I-4. 工学部電気電子工学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、電気電子工学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士（工学）の学位を授与する。

1. 電気回路・電気磁気学・電子回路などの電気の基礎知識を修得し、物理的・数学的考察により、具体的な問題に適用できる能力。
2. コンピュータや自動制御についての基礎知識を修得し、具体的な問題に適用できる能力。
3. 電気エネルギー技術とそれを支えるエレクトロニクスに関する基礎知識を修得し、それらを具体的に活用できる能力。
4. 電気電子工学に関わる計測・実験についての基礎知識を修得し、実際に測定・解析を行うことができる能力。
5. 電気電子分野における新しい課題を自らが提案し、自らの知識・技術を用いてその課題を解決できる能力。
6. 日本人の道徳・技術者倫理を踏まえ、世代の異なる電気技術者と専門的な議論をすることができる能力。
7. 電気以外の分野にも目を向け、創造的な発想に向けて挑戦できる能力。
8. 専門分野の技術文書に記載される日本語および英語の表現を学び、専門分野に関する論理的な文章を日本語で書くことができる能力。

I-5. 工学部電子情報通信工学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、電子情報通信工学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士（工学）の学位を授与する。

1. 電気回路・電気磁気学・電子回路などの電気の基礎知識を修得し、物理的・数学的考察により、具体的な問題に適用できる能力。
2. コンピュータや自動制御についての基礎知識を修得し、具体的な問題に適用できる能力。
3. 情報通信技術とそれを支えるエレクトロニクスに関する基礎知識を修得し、それらを具体的に活用できる能力。
4. 電子情報通信工学に関わる計測・実験についての基礎知識を修得し、実際に測定・解析を行うことができる能力。
5. 電子情報通信分野における新しい課題を自らが提案し、自らの知識・技術を用いてその課題を解決できる能力。
6. 日本人の道徳・技術者倫理を踏まえ、世代の異なる電気技術者と専門的な議論をすることができる能力。
7. 電気以外の分野にも目を向け、創造的な発想に向けて挑戦できる能力。
8. 専門分野の技術文書に記載される日本語および英語の表現を学び、専門分野に関する論理的な文章を日本語で書くことができる能力。

I-6. 工学部情報工学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、情報工学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士（工学）の学位を授与する。

情報工学に関する基礎知識および基本的な技術を修得し、それらを高度情報化社会に向けて創造的に応用できる能力。

地域社会や産業界が持つ多様な問題を発見し、情報技術が及ぼす影響や有効性を考慮して、情報技術を核としたシステムの設計・実装することによって、それらを解決できる能力。

豊かな教養と人間力を身につけ、グローバルな視点から世代・分野・文化を超えた価値観を共有でき、情報系技術者として自律的に問題発見・問題解決に取り組み、イノベーションを実現できる能力。

I-7. 情報フロンティア学部メディア情報学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、メディア情報学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士（情報学）の学位を授与する。

(1)メディアテクノロジーとメディアデザインの二つの領域に関する専門分野の基礎知識・技術を修得し、それらを統合的、実践的に結びつけ、新しい価値を創造するための企画・設計・開発ができる能力。

(2)地域社会や産業界が持つ多様な問題を発見しそれらを解決するため、メディアデザインとメディアテクノロジーの専門知識・技術を総合的に活かすことができる能力。

(3)世代・分野・文化を超えた価値観を共有し、人々の生活や社会をより豊かにする新たなメディアを創造するイノベーションの実現に向けて行動できる能力。

I-8. 情報フロンティア学部経営情報学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、経営情報学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士（情報学）の学位を授与する。

1. マネジメント全般の基礎知識を修得すると共に、「ファイナンス」、「マーケティング」、「情報マネジメント」の学びの領域に設定された専門科目群を包括的に学び、それぞれの領域における理論や知識および関連するスキルを習得する。

・マネジメント基礎分野では、企業及び組織のマネジメントおよび生産管理などのマネジメント、それらのマネジメントに必要な統計的手法とデータ分析を活用できる。

・ファイナンス分野では、企業の財務諸表をもとに経営分析指標（財務指標）を求めることができる。

・マーケティング分野では、マーケティングに関する計画を立案することができる。

・情報マネジメント分野では、ビジネスにおいて情報通信技術を活用することができる。

2. 地域社会や産業界に貢献する自ら設定したテーマに関して、専門知識をもってプロジェクトデザインⅢを完成できる能力を身に付けている。

3. 講義や演習などを介して、正しい倫理観を持ちつつ、積極的に異なる世代、異なる専門分野、異なる文化に属する人々と協働できる十分な素養を習得し、グローバルに活躍できる基礎的な能力を有していると判断できる。

I-9. 情報フロンティア学部心理情報学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、心理情報学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士（情報学）の学位を授与する。

心理学に関する総合的知識の獲得を通して、人間のこころの働きを理解し、心身の健康保持、増進を図る能力。

獲得した心理学の専門技術を用いて、地域社会や産業界が持つ多様な問題の発見、解決の

ための協働を実施する能力。

世代・分野・文化を超えて共有した価値観に基づくイノベーション創出に貢献するために心理学的知識・技術を応用できる能力。

I-10. 環境・建築学部建築デザイン学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、建築デザイン学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士（工学）の学位を授与する。

建築学全般の基礎知識・技術に加え、建築の計画・設計・意匠や都市・まちづくりに関する知識・技術を習得し、豊かで美しく持続性のある建築や地域の環境形成に寄与できる能力。

建築・住宅・インテリアからまちづくり・都市レベルに至る人間環境の調査・分析や計画・設計を通して、地域社会や産業界が持つ多様な問題の発見や解決を行う能力。

建築の諸分野は社会全般、文化、地域、産業、生活などに深く結びついており、それらの各領域を超えた価値観を広く共有し、建築デザインに関する新たな知識・技術・価値を提案する能力。

I-11. 環境・建築学部建築学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、建築学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士（工学）の学位を授与する。

建築学全般の基礎知識・技術に加え、建築・都市の環境設備計画、構造計画およびその生産管理に関する知識・技術を習得し、安全で安心な建築と地域の環境形成・発展に寄与できる能力。

建築・都市の環境設備と構造の計画・設計、それを実現するための生産管理技術を修得する過程を通して、地域社会や産業界が持つ多様な問題の発見や解決を行う能力。

建築の諸分野は社会全般、文化、地域、産業、生活などに深く結びついており、それらの各領域を超えた価値観を広く共有し、環境設備、構造および建築生産に関する新たな知識・技術・価値を提案する能力。

I-12. 環境・建築学部環境土木工学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、環境土木工学が示す以下の知識及び能力を有する者に学士（工学）の学位を授与する。

インフラを計画・設計・施工・維持管理できる基礎的な知識と技能を有し、安全・安心・健康で持続性のある快適な社会を創造できる能力。

自然や文化に恵まれた豊かな市民生活を継続するための問題を発見し、防災やメンテナンスなどの技術により解決できる能力。

老若男女に親しまれ、異分野・異文化とも融合しながら、次代に望まれる地球環境や地域環境ならびに社会環境や生活環境を創造できる能力

I-13. バイオ・化学部応用化学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、応用化学学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士（理工学）の学位を授与する。

・応用化学に関する専門知識や実験技術をもとに、物質の創製と利用、化学分析、化学プロ

セスの創製と管理などにおける技術的課題を解決できる能力。

- ・人類社会の持続成長を視野に、地域環境、地球環境における多種多様な問題を発見し、解決できる能力。

- ・応用化学、およびその関連分野における技術的課題について、自ら設定した達成目標を実現するために、主体的かつ自律的に学習を継続できる能力。

- ・コンピュータを活用して、応用化学分野における科学技術計算、専門的な報告書の作成とプレゼンテーションができる能力。

- ・グローバルな視点から多面的な価値観を理解し、応用化学分野の専門知識の修得とコミュニケーションができる能力。

I-14. バイオ・化学部応用バイオ学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、応用バイオ学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士（理工学）の学位を授与する。

新機能分子を作り出す「バイオ工学」や遺伝子解析・遺伝子組換え技術を主とした「遺伝子工学」および人間の行動や感覚の仕組みを説明する「脳科学」の基礎を理解し、生命科学を応用した「ものづくり」ができる。

専門基礎科目や専門科目およびプロジェクトデザイン科目で身に付けた科学力や技術力を使って、地域社会や産業界が持つ多様な問題の解決を自主的に実践できる。

- ・他分野と連携して社会の諸問題の解決やイノベーション（技術革新）に挑戦できる。
- ・生命科学やバイオ工学分野における安全と倫理について理解し、バイオ産業における問題発生を未然に防ぐことができる。
- ・バイオ工学、脳科学、遺伝子工学の分野の知識や技能を共有し、研究の成果を広く社会へ発信することができる。